









本山町内指定・選定文化財一覧表


番号		県・町別指定	名称	種別	所在地	指定年月日
1		県	帰全山	史跡	本山	S28.1.29
			きぜんざん	野中兼山の母、秋田夫人の墓や兼山にゆかりの遺跡が点在している。帰全山公園。		
2		町	伝・八木伊典の墓	史跡	本山	S47.2.22
			でん・やぎいてんのはか	土佐物語に本山氏の先祖といわれる八木伊典の墓等を求めて町内外の本山氏の子孫らが探究し、建設したもの		
3		町	山内刑部夫妻の墓	史跡	本山	S47.2.22
			やまうちぎょうぶふさいのはか	山内刑部は本山・山内氏の初代、2代目一長は改易にあう。墓は上の坊の最奥部にある。		
4		町	秋田夫人の墓	史跡	本山	S47.2.22
			あきたふじんのはか	土葬であることが歴史的意義といわれている。墓前に山崎闇斎による墓碑がある。		
5		町	野中順の墓	史跡	本山	S47.2.22
			のなかじゅんのはか	順は野中兼山の長女。祖母秋田夫人と同じ囲いの中に眠る。後方の石碑は順のもの。		
6		町	上の坊	史跡	本山	S47.2.22
			うえのぼう	野中兼山がここにあった古寺で谷時中や山崎闇斎らと南学を講究したといわれている。		


番号		県・町別指定	名称	種別	所在地	指定年月日
7		町	本山城跡	史跡	本山	S47.2.22
			もとやまじょうあと	本山町中山に所在し、丘陵頂上部に主郭の詰が構築されている。北側に向けて一段下がって二ノ段、さらにそれを取り巻くように三ノ段が構築されている。切岸を利用した防御遺構が現存している。		
8		町	瀧山	史跡	北山	S47.2.22
			たきやま	新領主山内氏に抗して北山村庄屋・高石左馬之助らが山中の岩屋にこもった。栗の木川上流にある。		
9		県	長徳寺跡	史跡	寺家	S47.2.22
			ちょうとくじあと	寺は久安5（1149）年創建といわれている。長徳寺文書の主な舞台である。現在畑。また、町史の編さんを契機に発掘調査を実施。嶺北地域では最も古い縄文早期の土器が出土。		
10		町	土居屋敷跡	史跡	本山	S47.2.22
			どいやしきあと	本山城跡の北麓。上街公園となっている。山内氏、野中兼山ともにここを土居屋敷とした。		
11		町	片岡館	史跡	本山	S47.2.22
			かたおかかん	衆議院議長片岡健吉氏の尽力で明治36年に建築。大正5年、町が譲り受け町公会堂とした。		

番号		県・町別指定	名称	種別	所在地	指定年月日	
12		町	吉延の大杉	天然記念物		吉延	S47.2.22
			よしのぶのおおすぎ	阿弥陀堂の境内にあり、樹高43m。周囲（眼高）8m、樹齢約1200年。土佐藩の参勤交代道沿いにある。			
13		町	吉延の乳銀杏	天然記念物		吉延	S47.2.22
			よしのぶのちちいちょう	阿弥陀堂の境内にあり大杉と並んでたつ。			
14		町	帰全山記	有形文化財	(建造物)	本山	S47.2.22
			きぜんざんき	帰全山公園内、西方の小高い所にある鉄塔で秋田夫人の墓碑銘と帰全山の記が刻んである。			
15		町	縄文式土器（長徳寺跡出土）	有形文化財	(考古資料)	寺家	S53.7.10
			じょうもんしきどき（ちょうとくじあとしゅつど）	昭和52（1977）年長徳寺跡発掘の際出土。楕円押型土器の破片は約8000年前のものである。			
16		町	弥生式土器（嶺北高等学校地出土）	有形文化財	(考古資料)	本山	S47.2.22
			やよいしきどき（れいほくこうとうがっこうしゅつど）	昭和30年代の嶺北高等学校校庭造成時に出土。弥生時代後期のもの。嶺北高校で展示。周辺に永田遺跡がある。			
17		町	石斧（上奈路、営林署杉檜苗床出土）	有形文化財	(考古資料)	北山	S47.2.22
			せきぶ（うわなるすぎひのきなえとこしゅつど）	大正9（1920）年頃上奈路の営林署苗床の地表で発見。磨製石斧である。嶺北高校で展示。			

番号		県・町別指定	名称	種別	所在地	指定年月日	
18.19		町	若一王子宮神殿と社叢	有形文化財・天然記念物	寺家	S47.2.22	
			にゃくいちおうじぐうしんでんとしゃそう	長徳寺文書(1176年)に初出、古社である。参道林中に親子杉、夫婦杉等がある。			
20.21		町	十二所神社神殿と社叢	有形文化財・天然記念物	本山	S47.2.22	
			じゅうにしよじんじゃしんでんとしゃそう	長徳寺三社の一つ。白髪神社と併称される。野中兼山が今宮から現在地に移築した。			
22		町	銀杏ノ木遺跡	史跡	本山	S61.3.5	
			いちょうのきいせき	旧本山保育所南側(現在の香南会 天空の里)。弥生時代後期を中心に縄文時代早期の遺物、遺構が発掘された。 また、県中央部では初となる縄文時代早期のトロトロ石器が出土。			
23		町	旧山下家の門	有形文化財	(建造物)	下関	S63.3.31
			きゅうやましたけのもの	江戸時代後半、参勤交代時の休憩所に当てられた家。門と石垣が当時の姿を留める。			
24		町	縄文式土器(松ノ木遺跡出土)	有形文化財	(考古資料)	寺家	H7.6.23
			じょうもんしきどき(まつのきいせきしゅつど)	松ノ木遺跡で発掘された土器。松ノ木式土器と命名され標識設定された。 松ノ木式土器は、四国島内だけでなく、佐賀県や鹿児島県、島根県からも出土しており、広域な交流が行われていた。			
25		町	松ノ木遺跡	史跡	寺家	H9.9.29	
			まつのきいせき	西日本屈指の縄文時代の遺跡。吉野川対岸から全体景観を望むと良い。現在は田園となっている。人や物の中継場所として様々な文化を受け入れ、さらに独自の文化を創り出した土器が出土した。(松ノ木式土器)			

番号		県・町別指定	名称	種別	所在地	指定年月日
26		町	井ノ窪城跡	史跡	井窪	H12.5.9
			いのくぼじょうあと	本山城跡の東に直面する山上にある。現在は山林であるが遺構が確認できる。		
27		町	上関阿弥陀堂奉納相撲	無形民俗文化財	上関	H24.02.16
			かみぜきあみだどうほうのうずもう	<p>上関あみだ堂は、古代から宮廷相撲（すまい）の節として秋に行われてきた。現在は毎年8月14日に行われ、町内外から力自慢の力士が集う。相撲の紀元は長宗我部元親時代に家中や、遠くの力持ちがとったとの説がある。</p> <p>山内時代にも相撲があり、盆踊りも盛んに行われ、次第に華美になるので、自粛しようと、3回触れが出た。全盛期には嶺北だけでも野相撲（昼相撲も含めて）20数ヶ所で催され、なかでも東光寺、中島観音、お三倉神社は有名場所として多くの力士で人気だった。また、各地から有名力士も育ち四股名付きで、化粧回しも鼯真から贈られたと伝えられている。高知県相撲連盟嶺北支部の肝入りで今もお5ヶ所ほど行われており、ふるさとの土俵風景を展開している。これは全国的にも珍しく、他に類を見ない。</p>		
28		県	汗見川 枕状溶岩	天然記念物		H19.3.26
			あせみかわ	古代の海底火山が噴き出したことによりできました。溶岩の中に海水が入り込み、溶岩が海水と反応したため、枕状（ラグビーボール）のような形になった。		

番号		県・町別指定	名称	種別	所在地	指定年月日
29		県	白髪山 八反奈路根下がりヒノキ群生地	天然記念物		H28.5.17
			しらがやま はったんなるねさがりひのきぐんしょうち			

30		県	奥工石山（竜王山）の紅簾石珪質片岩大露頭部	天然記念物		H29.6.23
			おくくいしやま こうれんせき			